

授業科目 教育社会制度論Ⅰ

【担当教員名】 吉田 重和		対象学年	2	対象学科	健康・スポ・看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【概要・一般目標：GIO】 価値観が多様化・複雑化している現代社会において、学校教育を中心とする教育制度もまた、多様化・複雑化してきている。現代社会において、子どもの教育の質を保証するための仕組みが制度的・行政的にどのように確立されているかを受講者が理解することを、本講義の目標とする。					
【学習目標】 1. 現代教育の諸問題の傾向性と特徴を説明できる。 2. 現代の公教育の制度的枠組みと理念を説明できる。 3. 現代教育がどのように制度的に運用されているかについて、制度的実態とその課題を説明できる。 4. 教育制度の法的根拠について知る。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション／現代教育の諸問題	1	講義		
2	現代の公教育制度	2, 4	講義		
3	教育法制	2, 4	講義		
4	教育行政	3, 4	講義		
5	学校経営と学校評価	3, 4	講義		
6	教育課程経営	3, 4	講義		
7	教職員の職務・サービスと教員評価	3, 4	講義		
8	まとめ	1, 2, 3, 4	まとめ		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		現代教育の制度と行政	河野 和清 他	福村出版	2008・2,300円＋税
その他の資料		必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 平素の学習状況（出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容／25％程度）及び定期試験の結果（75％程度）を総合的に判断して評価する。		【履修上の留意点】 本講義を受講するにあたっては、「教職概論」をはじめとする教職課程の各科目を履修していることが望ましい。			